

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 JRR-3 原子炉施設に係る新規制基準への適合性確認に関する事業者ヒアリング（218）
2. 日 時：令和2年9月29日（火）16時05分～16時55分
3. 場 所：
 - （1）原子力規制庁10階南会議室
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁
原子力規制部 新基準適合性審査チーム
島村安全審査官、加藤安全審査官
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
研究炉加速器技術部 JRR-3 管理課 担当者 他9名
5. 議事要旨
 - （1）原子力規制庁から、第374回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（令和2年9月28日）において、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）JRR-3 原子炉施設新規制基準適合に係る原子炉保安規定変更認可申請（以下「本申請」という。）に関する指摘事項について、以下のとおり補足説明を行った。
 - BDBA（炉心冷却機能喪失事象）について、本申請において、線量が顕著に見られる場合に対策を実施しているが、その具体的な判断基準が示されていないことから、事故進展に応じた想定事象を整理し、各想定事象の対策及び実施の判断基準を説明する必要があること。
 - 教育訓練及び能力維持管理については、BDBA 以外の項目について説明がないことから、説明する必要があること。
 - （2）原子力機構から、上記（1）の指摘事項について了解し、今後の審査会合又はヒアリングで説明する旨の回答があった。
 - （3）原子力機構から、JRR-3 原子炉施設に係る設計及び工事の計画の変更認可申請（その13）について、資料1に基づき説明があった。
 - （4）原子力規制庁から、上記（3）の説明について了解した旨の回答をした。

6. 配付資料

- ・ 原子力機構からの配付資料

資料 1 設工認その 13 に係る防護対象ケーブルのケーブルトレイの敷設状況について